

ちばの里山 LIFE 体験交流事業実施報告書 (10)

主催：千葉県

企画運営：NPO 法人ちば里山センター

協力：きみつ里山活動ネットワーク

題 名	里山地域の魅力PRセミナー「地域の誇りと日々の生業を売る」
日 時	平成 28 年 10 月 8 日 (土) 13:20~15:00
会 場	君津市内みのわ運動公園市民体育館
出席者	受講生 80 名 スタッフ 4 名 (里山センター)、 講師 1 名、
内 容	13:20~15:00 講演「地域の誇りと日々の生業を売る」 講師 鴨川「みんなみの里」事務局長
報 告	<p>講師の清水氏は、鴨川シーワールド職員から市に請われて現職に転じ、今や鴨川市を代表する顔の一つである大山千枚田の保存会の立ち上げを皮切りに、「みんなみの里」、「鴨川オーシャンパーク」の二つの道の駅を実質的に経営する事務局長として、「日常を売る」をコンセプトに鴨川産の農林漁業生産物(鴨川ブランド)の魅力情報を発信している方である。</p> <p>平成 21 年度千葉県農林水産功労者表彰を受賞し、その前年には農林水産大臣の「地産地消の仕事人」の選定も受けている。</p> <p>講演では「地域の日常にこだわる」ことが重要で、地域の自然のみならず、食べ物、習慣そして何より住民が地域の宝であることを認識することから始まることを、豊富な実例を挙げて強調された。</p> <p>例えば、みんなみの里の直売所では、地元の生産者がつくった物のみを取り扱い、品揃えを良くするために他から仕入れるといったことはしないが、それにより特徴ある直売所となり、好評を得ているとのこと。</p> <p>また、直売所の枠に止まらず、郷土の文化や地域の産品を紹介するとともに、プロの指導を受けながら真剣に農業体験をすることが求められる「ふれあい農園」の活動などを通して都市住民との交流を図るなど、地域のありのままの姿の発信基地としての「総合交流ターミナル」を目指しているとのことであった。</p> <p>現在、みんなみの里を拠点にして、大山不動や大山千枚田を巡る日帰りツアーなども行われており、波の伊八という歴史的な遺産、大山千枚田と里山の自然景観など、地域の個性ある資源をハイキングやサイクリングのコースに組み込み 1 つの線に仕立てて商品化する試みも行われている。</p> <p>思いついたアイディアは実行を通して磨き上げることが重要で、お客さんの時には辛口の反応が商品を育てるとの視点で、地域の住民を巻き込みながら活動を広げていくことをモットーにしているとのことであった。</p> <p>質疑応答に入ると、イベント内容、組織運営など具体的な運営についての質問に対し、更に詳細な事例を紹介しながら丁寧な回答があり、充実したやり取りに、参加者がうなづく場面も多かった。</p>

添付資料（写真）



金親理事長による開会



清水講師



スライドを見つめる参加者



会場からは熱心な質問が



受付状況



会場ロビーの里山活動展示